デモンストレーション

画面に講師と受講者の両方の画面を表示させる

または、操作している人を用意する

理解度のデータは用意しておき、リアクションはリセットしておく

前半の1分

・初めにホーム画面のデザインを見せる

　スライダー

受講者側

・受講者側にログインし、ログイン画面のデザインを見てもらう。

・実際にボタンを押し音声が流れることを見てもらう。

・受講者の「分かった」「分からない」ボタンを押す

　講師側にログインしておき、6秒ごとに更新されるところを実際に見てもらう。

・リアクションボタンを押す

　講師側のリアクションボタンが増えたことや、回数が増えていることを見てもらう

・プロフィールの編集画面にて実際に編集を行ってみる？

・理解度を円グラフにして可視化しているところを見てもらう？

講師側

・講師側のグラフを受講者の分かった」「分からない」ボタンと合わせて見てもらう。

・受講者一覧にて、ここから受講者を選択することで受講者のプロフィールが見れることを見てもらう。

〇デモンストレーションで話せたらいいなと思うところ

・講師と受講者それぞれがアカウントを登録できる

・講師

・受講者のリアクションボタンを押した状況がグラフによって、リアルタイムでわかる

・受講者

・ログインしたらすぐにリアクションボタンがあって押しやすい

・受講者のプロフィール欄には写真、プログラミング経験の有無や、出身学部、好きな音楽などがあり、講師が知りたい情報が載っているように工夫した

・リアクションボタンが押された回数を集計してグラフ化する

・理解度で全体の把握ができる

・リアルタイムで理解度がわかる仕組み

・リアクションボタンを押すと矢沢講師の音声が流れる仕組み

・いろんなボタンがあったら押したくなるし、楽しい

・アカウントは講師でのみ消すことができる

・受講者はプロフィールの編集が可能

・リアクションボタンを押した回数と時間で理解度を図る

・メニューバーを上につけることでシンプルなデザインになっている

・メニューバーは講師と受講者で色が違う

・ホバー時に下線が出て動くおしゃれなデザイン

・ログイン画面の背景をオレンジと水色の水玉が浮かぶものにした

・イメージカラーを講師はオレンジ色、受講者は水色にした

・受講者のプロフィールをページ分けして10件ずつ表示するようにした

・プロフィール詳細ボタンを押すと詳しい受講者のプロフィールと理解度が見られるようになっている

・プロフィールと理解度がすぐ見られる

・わかるわからないボタンをどれだけ押したか円グラフでわかる

・受講者それぞれの研修中の理解度がわかる

・わかったわからないボタンを大きくして後は小さくする

・リアクションボタンのみのシンプルなデザイン

・パスワードを再入力してもらうことで間違えずに登録できる

・目のマークをつけることで表示非表示が自由にできる

・スクロールバーで上に上がるボタンをつけた

・色の統一感

〇result

・result画面も真ん中に寄せたり統一感を出した

・result画面で登録できたなどの表示とともに矢沢講師の格言が出てくる

・ラジオボタンをつけることで入力する手間が省ける

・受講者の理解度は円グラフ

・リアクションボタンをポジティブな言葉とネガティブな言葉で分けて色分けしている

・レスポンシブ対応のデザインになっている

・トップ画面の幅の最大幅で両側に空白ができるようにした

・メイン画面にヤザワスイッチの特徴を書いた

・メイン画面の説明がスライダーになっている

・リアルタイムの時間を取得して定期的に更新

・プロフィール編集画面に写真を入れて保存できる

・パスワードのIDに文字数制限

・講師IDと受講者IDが被らないようにした

スクショにとって見せる部分

・

・

・